

# 重要安全情報

本書に記載した注意事項は次のように危険の程度や内容に応じて使い分けております。製品をお使いになる前に必ずお読みください。

**⚠ 警告**：誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

**⚠ 注意**：誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- ・重傷とは、失明、けが、やけど(高温、低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび、治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ・傷害とは治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。
- ・物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

## ● 絵表示の例



感電注意

△記号は警告や注意を示します。  
具体的な警告や注意内容は△の中に絵で示します。



分解禁止

⊘ 記号は禁止の行為を示します。  
具体的な禁止内容は⊘の中に絵で示します。



プラグを抜く

●記号は必ずやることで、強制する行為を示します。  
具体的な強制内容は●の中に絵で示します。

# はじめに

---

このたびは、電子タイムスタンプ「PIX3000」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

PIX3000を安全に正しくご使用いただくために、この取扱説明書を、お使いになる前に必ずお読みください。また、お読みになった後は、いつでも使えるように大切に保管してください。

## — お願い —

お手数ですが、ご愛用者カードに所定事項を記入していただき、控えをご購入の販売店にお渡しください。アマノご愛用者リストに登録し、より完全なアフターサービスが行えるようにしたいと存じます。

- 製品改良のため、仕様・外形・記載事項等が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、誤りや記載事項の不明点がありましたら、ご購入の販売店までご連絡ください。
- 本書の内容の一部あるいは全部を、無断で複写、転載しないでください。

# 安全にお使いいただくために

PIX3000をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みいただき、理解してください。

## ⚠ 警告



定格電圧禁止

- 製品に表示した電源電圧以外の電圧で使用しないこと。また、タコ足配線をしないこと。  
火災、感電のおそれがあります。



濡れた手禁止

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。  
感電のおそれがあります。



禁止

- 電源コードを傷つけたり、破損しないこと。  
また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。



分解禁止

- 本書で外す手順を説明した部位以外は分解したり、触れないこと。  
内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。



分解禁止

- この機器を改造しないこと。  
火災、感電のおそれがあります。



プラグを抜く

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常状態のときは、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に連絡すること。  
そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。



プラグを抜く

- 万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に連絡すること。  
そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

## ⚠ 注意



使用禁止

- ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないこと。  
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

- この機器の上に水の入った容器や金属物を置かないこと。  
こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。



水気、ホコリ禁止

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所やホコリの多い場所に置かないこと。  
火災、感電の原因となることがあります。



固定用具を使用

- 壁掛けは本機の重量を十分支えられるように壁材にあった固定用具を使用すること。  
落ちてけがの原因となることがあります。



プラグを持って抜く

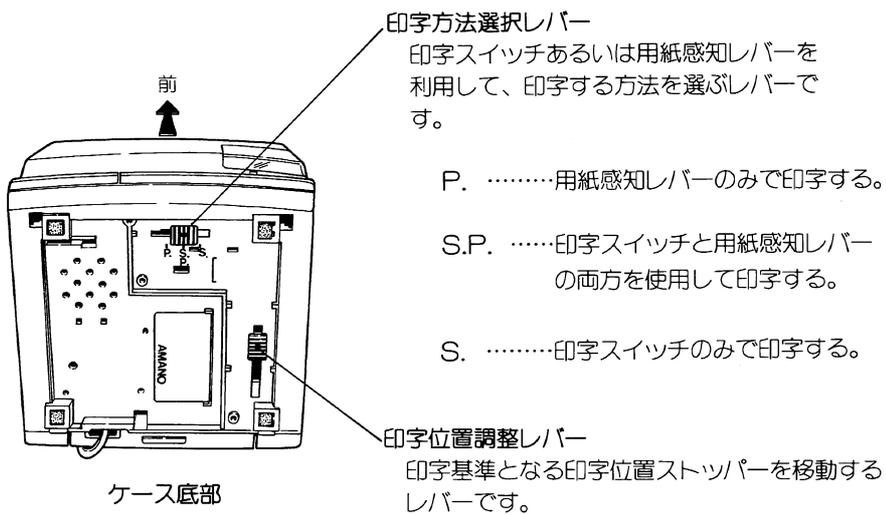
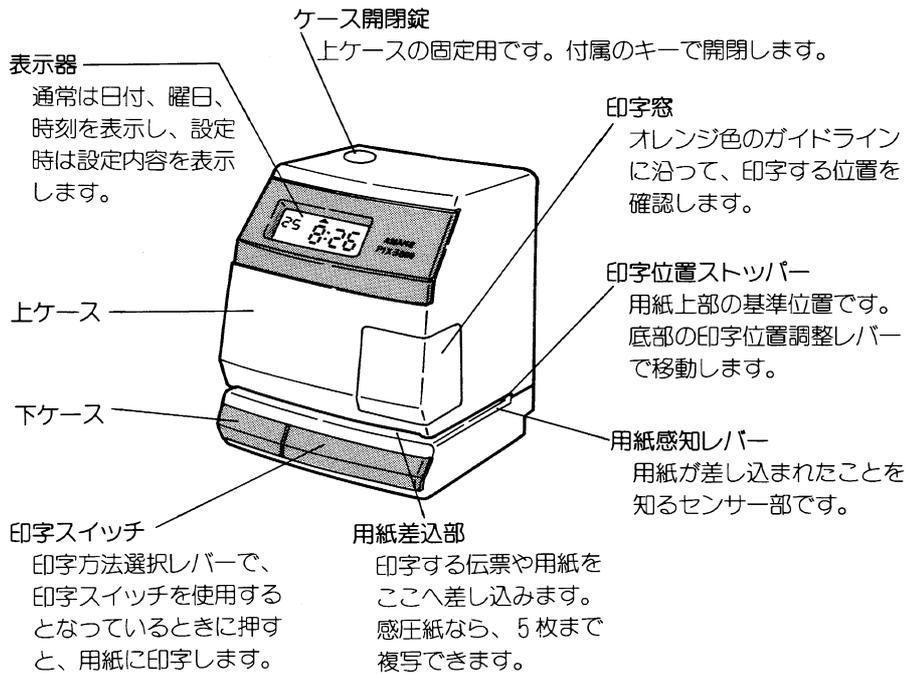
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- リボンカセットを交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行うこと。  
そのまま交換するとけがや感電のおそれがあります。

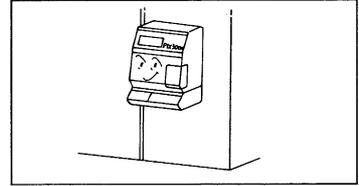
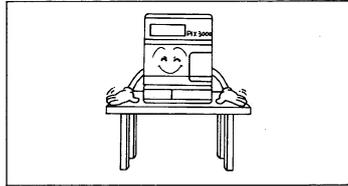
# 各部の名称とはたらき



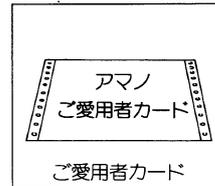
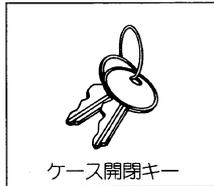
## ご使用前に

この電子タイムスタンプ「PIX3000」は、連続番号、日付、時刻を伝票や用紙に印字する装置です。設置は安定した机の上に置くか、壁に取りつけてご使用ください。

印字する前に、印字内容や印字位置を合わせてください。



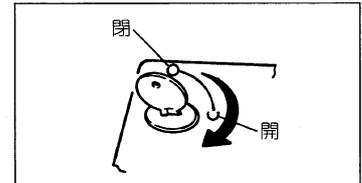
### 付属品



### 上ケースのはずしかた

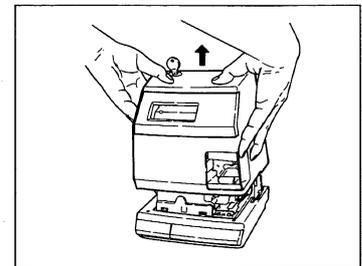
時計・日付合わせ・印字文字合わせ・リボン交換などをするときに、上ケースを付属のキーで開けます。

- 1 付属のキーを錠に差し込み、右に回します。



- 2 上ケースを持ち上げると、本体から外れます。

上ケースをかぶせるときは、キーを右に回したまま、上から降ろして上ケースと下ケースをはめ込みます。次に、キーを左に回して施錠します。

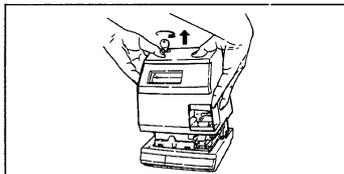


## バッテリーコネクタの接続

印字電源用のバッテリーを接続してから電源プラグをコンセントに差し込みます。

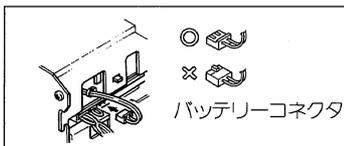
### 1 上ケースをはずす

付属のキーを使用して上ケースをはずします。



### 2 コネクタを接続する

後部のバッテリーコネクタをプリント基板のコネクタ (CN3) へ差し込みます。



注意：バッテリーコネクタを接続しないと、印字できません。

：バッテリーコネクタの上下を逆に差し込むと、事故につながります。

## 電源の入れかた

### ⚠ 警告



定格電圧禁止

- 製品に表示した電源電圧以外の電圧で使用しないこと。また、タコ足配線をしないこと。火災、感電のおそれがあります。



濡れた手禁止

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。感電のおそれがあります。



禁止

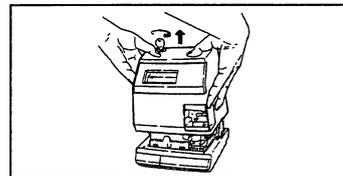
- 電源コードを傷つけたり、破損しないこと。また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。

## バッテリーコネクタの接続

印字電源用のバッテリーを接続してから電源プラグをコンセントに差し込みます。

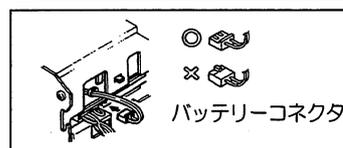
### 1 上ケースをはずす

付属のキーを使用して上ケースをはずします。



### 2 コネクタを接続する

後部のバッテリーコネクタをプリント基板のコネクタ (CN3) へ差し込みます。

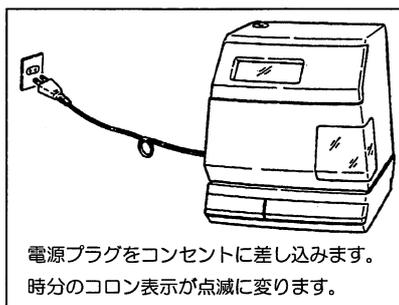


注意：バッテリーコネクタを接続しないと、印字できません。

：バッテリーコネクタの上下を逆に差し込むと、事故につながります。

## 電源の入れかた

電源は、一般家庭用の交流 100V を使用します。



注意：製品に明記された電源以外で使用した場合は、故障の原因となります。

：初めて使用するときや、停電復帰後はバッテリーの容量が低下しています。充電期間を置いてからご使用ください。

### ■ 停電時の対応

停電があっても完全充電状態のバッテリーは、62時間あるいは最大 400 打刻のどちらか一方の条件になるまで使用できます。また、設定内容や時計データは 7 日間補償します。

12:00  
通電中

12:00  
停電中

## 設置場所

注意：必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

### ⚠ 警告



濡れた手禁止

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。  
感電のおそれがあります。



禁止

- 電源コードを傷つけたり、破損しないこと。  
また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。

### 注意



使用禁止

- ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないこと。  
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



水平でなく不安定な所



禁止

- この機器の上に水の入った容器や金属物を置かないこと。  
こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。



水気、ホコリ禁止

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所やホコリの多い場所に置かないこと。  
火災、感電の原因となることがあります。



ホコリ・振動の多い所



プラグを持って抜く

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

つぎの環境には設置しないでください。



直射日光や熱源に近い所



屋外や雨水などのかかる所

# 壁に取り付けるとき

印字位置が見やすいところに取り付けます。

## ⚠ 警告



濡れた手禁止

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。  
感電のおそれがあります。



禁止

- 電源コードを傷つけたり、破損しないこと。  
また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたり  
すると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。

## ⚠ 注意



固定用具を使用

- 壁掛けは本機の重量を十分支えられるように壁材にあった  
固定用具を使用すること。  
落ちてけがの原因となることがあります。



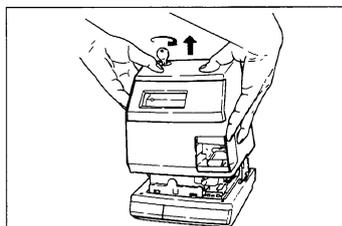
プラグを持って抜く

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原  
因となることがあります。

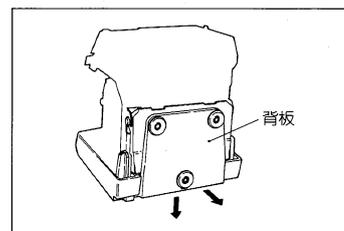
**1** 電源プラグをコンセントから抜く

**2** 上ケースをはずす

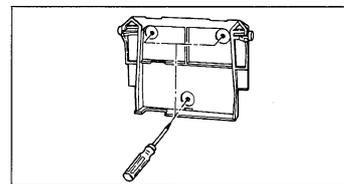
付属のキーを使用して上ケースをはず  
します。



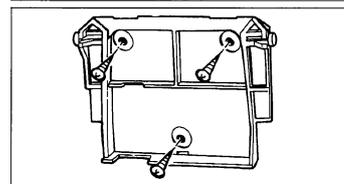
- 3** 背板をはずす  
背板の下部を強く手前に引くと、フックがはずれます。次に背板を下に引きながら本体からはずします。



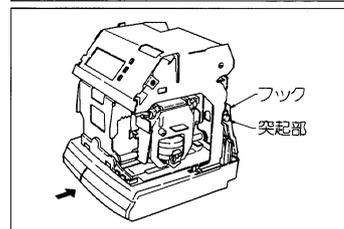
- 4** 取り付け穴をあける  
ドライバーの先で、半抜き部3カ所に木ネジが入るように穴をあけます。



- 5** 背板を固定する  
φ5.1程度の木ネジ3本で背板を壁に固定します。



- 6** 本体を取りつける  
背板の突起部（2カ所）に本体のフックを引っ掛け下ケース部を押すと、「カチッ」と音がして背板に本体が入ります。



- 7** 上ケースをかぶせる

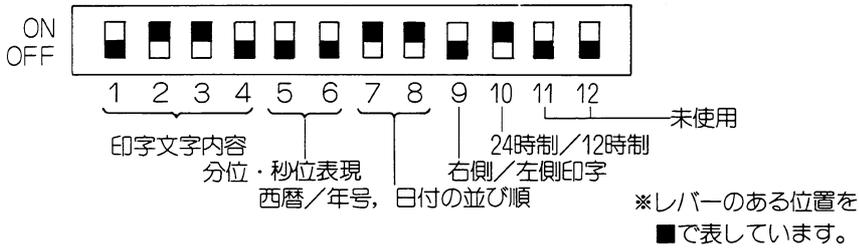
- 8** 電源プラグをコンセントに差し込む

# 印字文字の合わせかた

付属のキーを使用して上ケースをはずします。

用紙に印字する内容をディップスイッチの組み合わせにより、年、月、日、時、分、連続番号を選択してください。

000000 20 15:37



## 印字する文字内容

■ 年 月-日 時:分 [単位: mm] ディップスイッチ

2 12-20 15:37  
|-----|  
31.5

ON OFF ■■■■ ■■  
1 2 3 4 7 8

'90 12-20 15:37

ON OFF ■■■■ ■■  
1 2 3 4 7 8

■ 月-日 時:分

12-20 15:41  
|-----|  
24.5

ON OFF ■■■■ ■■  
1 2 3 4 7 8

■ 曜日 日 時:分

4 20 15:37  
|-----|  
24

ON OFF ■■■■ ■■  
1 2 3 4 7 8

曜日	月	火	水	木	金	土	日
番号	1	2	3	4	5	6	7

■ 月 日 時:分 秒

12-20 15:37 00s  
|-----|  
32.5

ON OFF ■■■■ ■■  
1 2 3 4 7 8

■ 日 時:分

20 15:37  
|-----|  
18.5

ON OFF ■■■■ ■■  
1 2 3 4 7 8

■ 西 暦 月-日 時:分

1999 12-20 15:47  
|-----|  
32

ON OFF ■■■■ ■■  
1 2 3 4 7 8

- 6桁番号 年 月-日 [単位：mm] デイツプスイッチ  
 000000 2 12-20  
 └───────────┬───────────┘  
 33.5
- 6桁番号 日 時：分  
 000000 20 15:37  
 └───────────┬───────────┘  
 34.5
- 6桁番号 月-日 西暦  
 000000 12-201999  
 └───────────┬───────────┘  
 34.5
- 3桁番号 月-日 時：分  
 000 12-20 15:37  
 └───────────┬───────────┘  
 34

ON OFF

1 2 3 4 7 8

### 西暦／年号，日付の並び順

- 年号 月-日  
 2 12-20 15:37
- 西暦 月-日  
 '90 12-20 15:37
- 日-月 西暦  
 20-12'90 15:37
- 月-日 西暦  
 12-20'90 15:37

ON OFF

1 2 3 4 7 8

### 24時制／12時制

- 24時制  
 20 15:37
- 12時制  
 20 PM 3:37

ON OFF

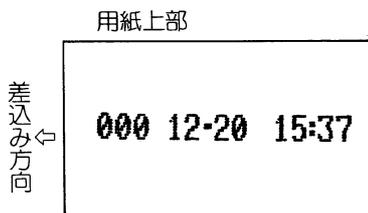
10

ON OFF

10

## 右側印字／左側印字

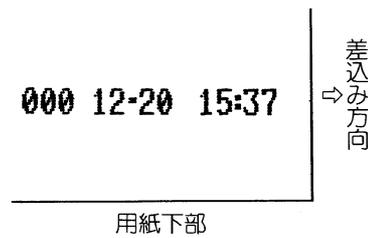
### ■ 右側印字



### ディップスイッチ



### ■ 左側印字



## 分位・秒位の表現方法

### ■ 普通時分 (60進法)

12-20 15:46 40s

### ディップスイッチ



・普通の時計と同じ表わしかた

### ■ 100進法 (A)

12-20 15.76 34s



・分位を100として60分割した表わしかた。  
・秒位は1時間を100分割して表わしている。従って、36秒で100Aの“分位”となる。

### ■ 100進法 (B)

12-20 15.75



・分位を100として20分割した表わしかた。  
・秒位はなし。

### ■ 10進法

12-20 15.7



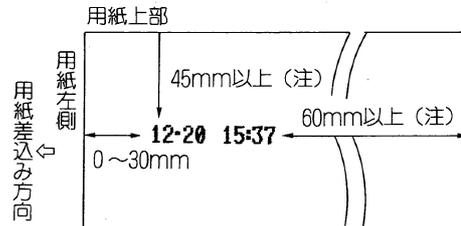
・分位を10分割した表わしかた。  
・秒位はなし。

# 印字位置の合わせかた

付属のキーを使用して上ケースをはずします。

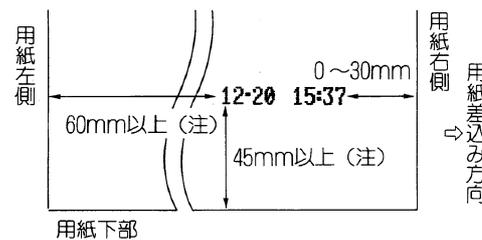
用紙に印字する位置を決めます。差し込み方向から0mm~30mmの範囲で調整し、つかみ代は印字位置によって必要な範囲を確保します。

## ■ 用紙の左側（ディップスイッチ「9」：OFF）



(注) 用紙上部から45mm  
あるいは、右側から60  
mmのどちらかのつ  
かみ代が必要です。

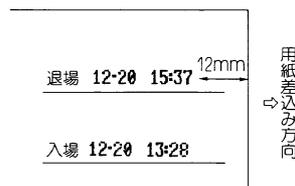
## ■ 用紙の右側（ディップスイッチ「9」：ON）



(注) 用紙下部から45mm  
あるいは、左側から60  
mmのどちらかのつ  
かみ代が必要です。

例1：時間貸し用として、月・日・時・分を用紙右上に印字する。

印字のしかたは、用紙を差し込むと自動印字する。（印字スイッチは使  
わない）



(1) 文字の高さ、印字内容の長さをあらかじめ調  
べる。用紙の位置を決める。

文字の高さ：3.6mm

印字内容の長さ：12-24 15:48

(11~12ページ参照)

(2) 「印字文字の合わせかた」を参考にして、デ  
ィップスイッチの「9」「10」をONにする。他はすべてOFFにする。

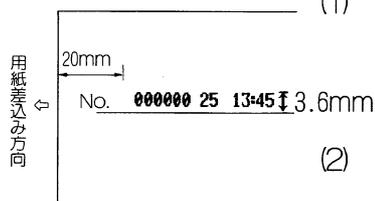
(3) 印字方法選択レバーを「P。」の位置にする。

(4) 用紙差し込み方向から0~30mmの範囲で調整できます。分の1の位か  
ら用紙端までの長さを決めます。（例：12mm）

(5) 印字位置調整レバーを、一番手前から試し打ちをしながら後ろに移動し  
て合わせます。

例2：受け付け順に番号と、日・時・分を伝票左上に印字する。

印字のしかたは、用紙を差し込み、印字スイッチも押す。(手動印字)

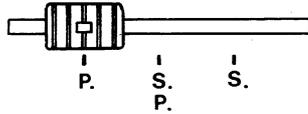


- (1) 文字の高さ、印字内容の長さをあらかじめ調べる。用紙の位置を決める。  
文字の高さ：3.6mm  
印字の長さ：11～12ページ参照
- (2) 「印字文字の合わせかた」を参考にして、ディスプレイスイッチの「2」「3」「10」をONにする。他はすべてOFFにする。
- (3) 設定操作で、連続番号のセット、繰り返し印字のセットをします。
- (4) 印字方法選択レバーを「S. P.」の位置にする。
- (5) 用紙差し込み方向から0～30mmの範囲で調整できます。番号最上位から用紙端までの長さを決めます。(例：20mm)
- (6) 印字位置調整レバーを、一番後ろから試し打ちをしながら手前に移動して合わせます。

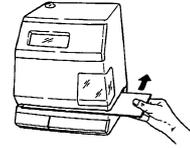
# 印字のしかた

印字は、用紙感知レバー、印字スイッチのいずれか一方あるいは両方を使用して、印字窓から見えるオレンジ色の枠内に印字します。印字方法選択レバーで3通りから選択できます。

## ■用紙感知レバーのみ（自動印字）

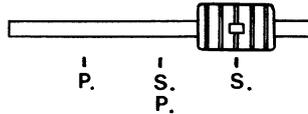


選択レバーを「P.」の位置にする。

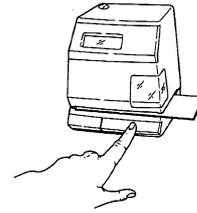


用紙を印字位置ストッパーのところまで差し込むと、自動印字します。

## ■印字スイッチのみ（手動印字）

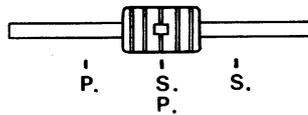


選択レバーを「S.」の位置にする。

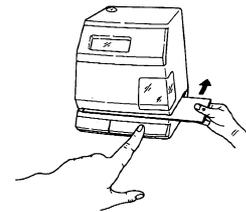


用紙を差し込み、印字位置を確認後、指で印字スイッチを押すと、印字します。

## ■印字スイッチと用紙感知レバーの両方（手動印字）



選択レバーを「S. P.」の位置にする。

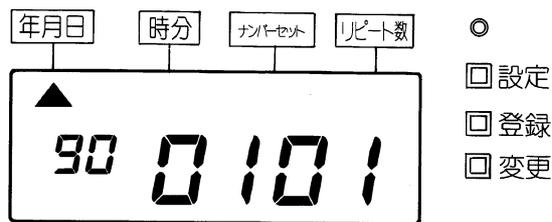


用紙を印字位置ストッパーのところまで差し込み、指で印字スイッチを押すと、印字します。

注意：  の表示をして印字しないときは、バッテリーコネクタの接続を確認してください。また、長時間の停電復帰後や、電源プラグがコンセントから外れたまま長期間使用した場合に表示することもあります。

## 設定のしかた

年月日、時分、番号セット、くり返し印字を合わせます。ここでは、設定の基本操作について説明します。時計は設定中でも歩進しています。



名称	機能
設定ボタン	設定を開始するとき、あるいは設定完了後、通常印字操作(時計表示)に戻すときに押します。
設定ランプ (赤)	設定ボタンを押して設定中は点灯し、設定ボタンを押して設定が終わると消灯します。
登録ボタン	選択した項目の設定内容を表示し、変更可能にします。変更ボタンを押し、希望内容にあったとき登録ボタンを押して内部へ登録し、次の処理へ移ります。
変更ボタン	設定項目を選択します。登録ボタンを押して表示した内容を希望数値に進めます。

### ■初期値と設定範囲

項目	初期値	設定範囲
年月日	1990年1月1日	初期値から2089年12月31日
時分	午前0時00分	0:00~23:59 12時制(AM/PM印字)も可能
ナンバーセット	000000	3桁から6桁まで任意 (000000~999999)
リピート数	0回(番号くり返し数なし)	0回から9回

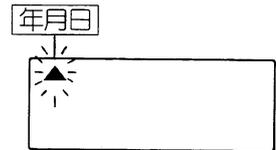
# 年月日の合わせ方

現在の日付に合わせます。

## 1 設定を開始



「設定」ボタンを押し、▲を点滅表示させます。



## 2 変更内容を表示



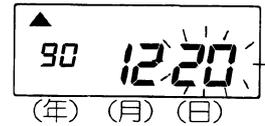
「登録」ボタンを押し、変更する内容を表示します。



## 3 変更のしかた



点滅表示を変えるときは「変更」ボタンを押します。  
変更項目を選ぶときは「登録」ボタンを押します。

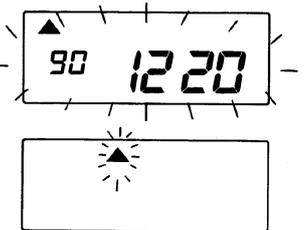


「変更」ボタンを押して希望する数になったら「登録」ボタンを押します。

## 4 登録のしかた



変更が完了し、年月日が点滅したら「登録」ボタンを押します。設定内容が登録され、▲が次の項目に移ります。



## 5 時計表示に戻す



「設定」ボタンを押し、時計表示に戻します。



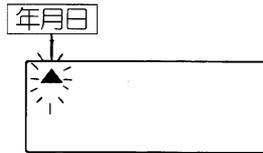
# 時分の合わせ方

現在の時刻に合わせてます。他の設定から続けて行うときは、手順2から操作します。

## 1 設定を開始



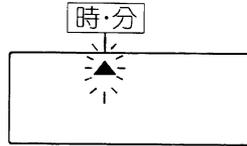
「設定」ボタンを押し、▲を点滅表示させます。



## 2 項目を選択



「変更」ボタンを押し、▲を時・分のところへ移動します。



## 3 変更内容を表示



「登録」ボタンを押し、変更する内容を表示します。



## 4 変更のしかた



点滅表示を変えるときは「変更」ボタンを押します。変更項目を選ぶときは「登録」ボタンを押します。



「変更」ボタンを押して希望する数になったら「登録」ボタンを押します。

## 5 登録のしかた



変更が完了し、時：分が点滅したら「登録」ボタンを押します。設定内容が登録され、▲が次の項目に移ります。



## 6 時計表示に戻す



「設定」ボタンを押し、時計表示に戻します。



# 始め番号の合わせ方

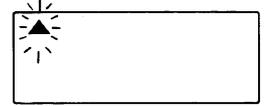
連続番号を印字する前に、最初の番号を設定します。設定により3桁から6桁までのナンバーを任意に選べます。他の設定から続けて行うときは、手順2から操作します。

## 1 設定を開始



「設定」ボタンを押し、▲を点滅表示させます。

年月日



## 2 項目を選択



「変更」ボタンを押し、▲をナンバーセットのところに移動します。

ナンバーセット



## 3 変更内容を表示



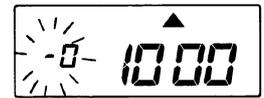
「登録」ボタンを押し、変更する内容を表示します。



## 4 変更のしかた



点滅表示を変えるときは「変更」ボタンを押します。変更項目を選ぶときは「登録」ボタンを押します。



5桁まで有効 01000にセット



「変更」ボタンを押して希望する数になったら「登録」ボタンを押します。

上位3桁は“-”が設定でき、この表示の桁は無効となり、印字しません。

## 5 登録のしかた



変更が完了し、すべての番号が点滅したら「登録」ボタンを押します。設定内容が登録され、▲が次の項目に移ります。



## 6 時計表示に戻す



「設定」ボタンを押し、時計表示に戻します。



# 番号くり返し数の合わせかた

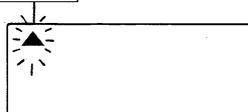
番号を何回か印字した後にくり上げるリピート数を0回～9回のうちから選択します。1回印字する毎に連続番号とするには、“1”にしてください。初期値は“0”となっており、番号くり返し数はそのまま変わりません。他の設定から続けて行うときは、手順2から操作します。

## 1 設定を開始



「設定」ボタンを押し、▲を点滅表示させます。

年月日



## 2 項目を選択



「変更」ボタンを押し、▲をリピート数のところに移動します。

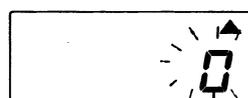
リピート数



## 3 変更内容を表示



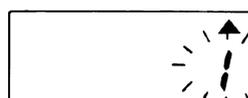
「登録」ボタンを押し、変更する内容を表示します。



## 4 変更のしかた



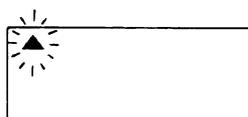
「変更」ボタンを押し、希望する数にします。  
0回～9回、0回は番号くり返しなし。



## 5 登録のしかた



「登録」ボタンを押すと、設定内容が登録され、▲が次の項目に移ります。



## 6 時計表示に戻す



「設定」ボタンを押し、時計表示に戻します。



# 保守

PIX3000をご使用中に行う点検や消耗品の交換方法について説明します。

## 設定内容の初期化

本機の機能が正常に働かなくなったときや、設定内容に異常があったときに行います。設定した内容をすべて初期値に戻します。総印字回数もすべてクリアされますのでむやみに行わないでください。

- 1 「設定」ボタンを押したまま、「リセット」ボタンを押します。
- 2 「リセット」ボタンを離すと、表示が点滅し初期化されます。
- 3 次に、「設定」ボタンを離します。
- 4 時計表示に戻すには「リセット」ボタンを再度押してください。



## エラー表示一覧

ご使用中に異常が発生したり、動作しないときには、下記の表示内容に従って処置をしてください。

現 象	原 因	処 置
時分のコロンが点滅しない	・ 停電中 ・ 電源プラグがコンセントからはずれている	→ 復電するまで待つ → 電源プラグをコンセントに差し込む
Lo bAt	・ バッテリーの容量不足	→ 電源を入れたままにし、充電する
E1 Prt	・ ホームセンサー、印字駆動部、駆動モータの異常	→ 電源プラグを一旦抜き、再度電源プラグをコンセントに差し込む
E2 Prt	・ タイミングセンサー、印字駆動部の異常	→ 電源プラグを一旦抜き、再度電源プラグをコンセントに差し込む
E3 Prt	・ ホームセンサーの異常	→ 電源プラグを一旦抜き、再度電源プラグをコンセントに差し込む
E4 Prt	・ 印字駆動部の異常	→ 電源プラグを一旦抜き、再度電源プラグをコンセントに差し込む
Er Prt	・ E1～E4以外の原因による印字動作異常	→ 電源プラグを一旦抜き、再度電源プラグをコンセントに差し込む

◆以上を点検しても正常にご使用できない場合は、むやみに分解・注油などをおこなわないで弊社最寄りの支店またはお求めの販売店へご連絡ください。

## 総印字回数の確認

購入後あるいは初期化する前に、使用した総印字回数を確認します。リボンの切り替えや交換時期の目安として利用します。

- 1 「変更」ボタンを押したまま、「リセット」ボタンを押します。
- 2 「リセット」ボタンを離すと、時計表示が消え、印字回数の表示に変わります。
- 3 次に「変更」ボタンを離します。
- 4 時計表示に戻すには「リセット」ボタンを再度押してください。



## リボンの切り替え

インクリボンは印字する幅を上下2段に切り替えて使用できます。印字が薄くなったら、青いツマミで上下を切り替えます。

### ⚠ 警告



濡れた手禁止

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。  
感電のおそれがあります。



禁止

- 電源コードを傷つけたり、破損しないこと。  
また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。



分解禁止

- 本書で外す手順を説明した部位以外は分解したり、触れないこと。  
内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

## ⚠ 注意



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

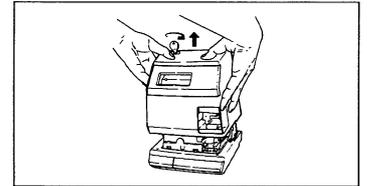


- リボンカセットを交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行うこと。そのまま交換するとけがや感電のおそれがあります。

### 1 電源プラグをコンセントから抜く

### 2 上ケースをはずす

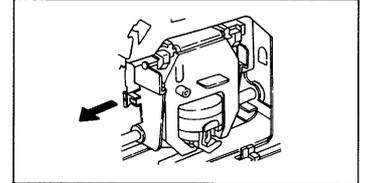
付属のキーを使用して、上ケースをはずします。



### 3 リボンを切り替える

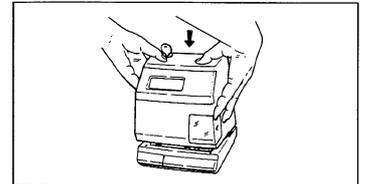
青いつまみを引くと、リボンカセットが持ち上がり、インクリボンの下段に切り替わります。

また、青いつまみを押せば、リボンカセットは、元の位置に戻ります。



### 4 上ケースをかぶせる

キーを右に回したまま、上ケースをかぶせ、下ケースにはめ込みます。



### 5 電源プラグをコンセントに差し込む

## リボンカセットの交換

印字が上下2段とも薄くなったら、リボンカセットを交換します。インクリボンは、青いツマミで上下を切り替えて両方とも薄いことを確認します。

品名	部品番号
リボンカセット(黒色)	CE-315151

注意：インクの補充はできません。必ず新しいリボンカセットに交換してください。

### ⚠ 警告



濡れた手禁止

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。感電のおそれがあります。



禁止

- 電源コードを傷つけたり、破損しないこと。また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。



分解禁止

- 本書で外す手順を説明した部位以外は分解したり、触れないこと。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

### ⚠ 注意



プラグを持って抜く

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



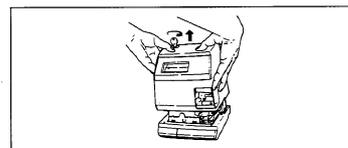
プラグを抜く

- リボンカセットを交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行うこと。そのまま交換するとけがや感電のおそれがあります。

**1** 電源プラグをコンセントから抜く

**2** 上ケースをはずす

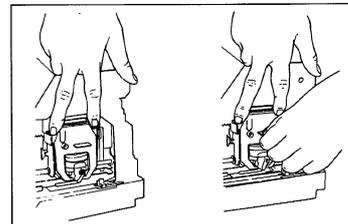
付属のキーを使用して、上ケースをはずします。



**3** リボンカセットを取り出す

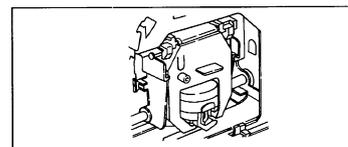
リボン押さえの2カ所を同時に上に解除したまま、リボンカセットの取手を持って引き抜きます。

リボンを切り替える青いツマミを押して、上段から使用できるようにします。



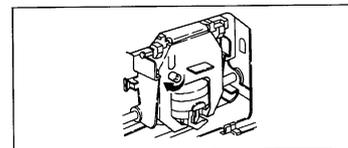
**4** 新しいリボンカセットをセット

リボンをドットプリンターヘッドと印字ガイドフィルムの間へ通るようにはめ込みます。



**5** 装着を確認する

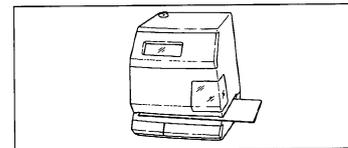
リボンカセットのツマミを時計方向に回して、たるみを取ります。



**6** 試し打ちをする

正しくリボンカセットがセットされたか用紙へ数回印字してみます。

注意：連続番号使用時は番号が進みます。



**7** 上ケースをかぶせる

**8** 電源プラグをコンセントに差し込む

## バッテリーの交換

PIX3000で使っているバッテリーの性能保証期間は、3年間です。  
この期間を過ぎたバッテリーは、停電時の保証時間数が低下することがあります。

弊社最寄りの支店またはお求めの販売店にお問い合わせのうえ、新しいバッテリーと交換してください。

注意：交換するときは、電源プラグをコンセントから抜いて行います。

### 警告



濡れた手禁止

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。  
感電のおそれがあります。



禁止

- 電源コードを傷つけたり、破損しないこと。  
また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。



分解禁止

- 本書で外す手順を説明した部位以外は分解したり、触れないこと。  
内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

### 注意



プラグを持って抜く

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

---

■ 交換方法

上部のカバーをはずし、結束バンドを切り取ってから、バッテリーをはずします。

新しいバッテリーを入れ、設定を行ってからご使用ください。

---

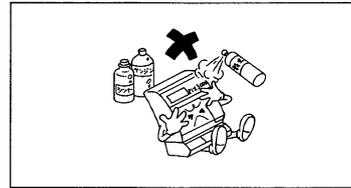
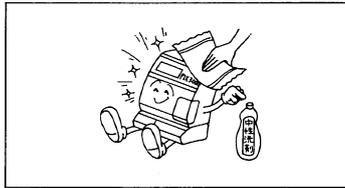
## 日常のお手入れ

---

柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて、軽くふいてください。

シンナーやベンジンなどを使用しますと、変形や変色の原因となります。

また、殺虫剤などをかけた場合でも変形や変色の原因となりますので、ご注意ください。



# ニカド電池について

本機に内蔵したバッテリーはリサイクル可能なニカド電池を使用しています。製品を廃棄する場合は、ニカド電池を取はずしてください。また、ニカド電池の取りはずしは、販売店、あるいは弊社支店・営業所にご相談ください。



**Ni-Cd**

ご使用済みのニカド電池は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで、販売店またはニカド電池リサイクル協力店にお持ちください。

種 類	ニカド電池 (Ni-Cd)
電 圧	9.6V 600mAh
電池タイプ	円筒密閉型



**Ni-Cd**

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

## 取り扱いと保管

- リサイクルするため、火の中に投げ込んだり、水につけないでください。
- 短絡（ショート）防止のためコードを切ったりコネクタをはずさないでください。
- 分解はしないでください。
- 乾電池など他の電池と混ぜないでください。

## 仕様

---

使用電源	AC100V±10% (50/60Hz)
消費電力	常時 3W 印字動作時 6W
環境条件	温度 -10℃～45℃ 湿度 10%～90% (結露のないこと)
外形寸法	150 (幅) × 176 (高さ) × 154 (奥行) mm
重量	2.6Kg
時計	水晶発振式 週差±3秒以内 (25℃±5℃)
文字	9ピンドットプリンター方式
印字方式	手動印字/自動印字 切り替え可能
停電印字	62時間あるいは最大 400 打刻のどちらかの条件まで可能
停電補償	時計・設定内容に対して7日間
用紙	紙厚 最大3mm 複写枚数 5枚複写まで可能 (感圧紙使用) 最小 100 (長さ) × 60 (幅) mm…印字文字や位置あるいはつかみ代によって、これ以下でも可能